

無接道敷地解消に向けた
わが家の記録

重要

私のおうち
NOTE



記入日 年 月 日

記入者

目次

はじめに	1
本書の取扱い方法	2
1 おうちと向きあいましょう	3
おうちの現在・過去・未来	4
① おうちのいま	4
② おうちのこれまで	5
③ おうちのこれから	6
2 おうちの“いま”を整理しましょう	7
1. 基本の情報	8
① 必要な資料の確認	8
② 土地のこと	9
③ 建物のこと	10
2. あなたしか知らない情報	12
① あなたのおうちの事情	12
② おうちのまわりの事情	14
③ おうちに関係する人の事情	16
3 おうちの“これから”を共有しましょう	19
1. おうちの考え方	20
① おうちに関係する人	20
② おうちに関する希望	21
2. 考え方の共有	22
おうちのこれからについての話し合い	22
4 無接道敷地の解消についてできることを始めましょう	25
1. 無接道敷地の解消すごろく	26
2. 無接道敷地のチェックリスト	28

はじめに

本書「私のおうちNOTE」は、ご自宅の無接道敷地を解消するため、自ら書き込み作成していく記録用のノートです。

無接道敷地では、原則建替えが出来ません。

しかし、建物の老朽化は進みます。老朽化が進めば、災害による火災・倒壊などの恐れがあり、近隣や地域といった周囲へ及ぼす影響も大きくなります。

このような問題は、相続などにより将来にも引継がれていくことになります。そのため、今後も安心・安全な生活を送るには、無接道敷地の解消が不可欠といえます。

無接道敷地を解消する方法は複数あり、土地や建物の状況によって方法も異なります。そのため、まずは「おうち」に関する情報を整理することが重要です。

また、解消にはご家族や近隣の方の協力が欠かせない場合も多いため、情報を共有していくことも重要です。

ご自宅に関するご家族との話し合いや、建築・不動産などの専門家への相談、設計・工事の事業者との相談にもご利用ください。



! 本書の取扱い方法

本書はご自宅専用の無接道敷地の解消資料として利用されることが目的です。

基本的な土地・建物の情報や無接道敷地解消に向けてこれからすべきことを整理するため、必要事項を記入したり、関係資料を収集して同封し、関連する内容をまとめていきます。

ご自身で利用することに加え、無接道敷地の解消には時間がかかることも少なくないため、土地や建物の相続も考慮して作成しましょう。

「私のおうちNOTE」は、4つの章により構成されています。

1 準備する

あらためて、おうちの昔・今・これからを考えてみましょう

2 整理する

おうちの基本情報や、あなたしか知らない情報を整理しましょう

3 共有する

おうちについて、考えていることをご家族に伝えましょう

4 始める

無接道敷地の解消に向けて、できることから始めましょう

「すごろく」で解消のイメージを持ち、「チェックリスト」で現時点での認識とやることを整理しましょう

本書は、記入編の「私のおうちNOTE」と、解説編の「私のおうちBOOK」の二部に分かれています。同封のクリアファイルには土地・建物の権利関係書類をまとめて保管し、無接道敷地の解消について検討する際にご活用ください。

記入編



解説編



クリアファイル

